

カレード通信 Vol.48

2021年
10月号

小澤館長のコラム Vol.4

「野々市は「1」が好き」その理由は「センスがないから？」

前号でセミの話を書いたら、カレード通信が出るころにはセミの季節は終わっていた。反省して今回はタイミングを考えて11月の話。野々市市は11月11日にめでたく10歳に、カレードは11月1日に4歳になる。「1」ばかりなのは覚えやすくて良いが、設定のセンスとしては私と同レベルのおやじぶりである。ダジャレではなく本当の意味で「1」を目指す市であってほしい。「住みよさランキング」全国総合1位は今後も死守してほしい。そしてカレードも「使いやすい図書館ランキング」全国1位を目指す。そういうランキングがあればの話だが。ともかく11月にカレードは4周年を迎え、行事をたくさん準備している。そのひとつとして4周年の記念品配布を計画中であるが、その記念品はまさにおやじレベルのダジャレを利かせた代物である。どんな記念品が登場するのか、乞うご期待。(つづく)

図書館展示情報

一般展示 トーマス・エジソン没後90年 発明はちょっとしたアイデアから

～失敗したことがない。たんに、うまくいかないだろう1万の方法を見つけただけ～
今年トーマス・エジソン没後90年です。蓄音機、白熱電球の長寿化など、発明王は数多くのものを残しました。窮屈な生活を強られる昨今、ちょっとした発明で生活を少しでも豊かにできることもあります。そんなアイデアのヒントを見つけられる本を集めました！

YA展示 新しい自分を見つけよう

夏休みも終わり、毎日をなんとなく過ごしてしまっているそこのあなた！
過ごしやすい気候になってきた今、なにか新しいことを始めてみませんか？
できることが限られているように感じる最近ですが、意外と近くにたくさんの「新しい」が眠っているかも…
ぜひ自分に合った「新しい一冊」を見つけてください！

児童展示 世界のむかしばなし

「うらしま太郎」のおとぎ話がのっている「おとぎぞうし」には、なんと300ものおはなしがあったのです(°Д°)。そして世界には、もっとたくさんの「むかし話」があるのです。
みんなはどこのおはなしが好きかな。(´・ω・)？

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。
ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪



10月 October

日	月	火	水	木	金	土
					1 中乃波木展 ～10/19	2 陶芸教室
3	4	5 あかちゃん おはなし会	6	7	8	9 陶芸教室
10	11	12	13	14	15 料理教室	16 陶芸教室
17 こども おはなし会	18	19	20	21	22	23 陶芸教室
24 かがく実験教室 31	25	26	27	28	29	30

10月カレードイベント情報！

野々市市 市制施行 10周年記念
中乃波木 読む写真展 い〜じ〜大波小波の世界 **開催中**

会期：9月16日(木)～10月19日(火)
9:00～19:00(入場無料)
会場：市民展示室・オープンギャラリー

中学時代に母・十七波氏と旧柳田村(現在の鳳珠郡能登町)に移住してからの母娘の暮らしをつづった「い〜じ〜大波小波(2019年ロクリン社)」の世界観を約100点の作品と共に表現。中乃波木氏だからこそ表現できる写真×物語の世界を、見て、読んで、お楽しみください。



中乃波木さんの書籍
2種類をカウンターにて販売中です！
ご観覧の記念にいかがでしょうか？



カレードPOPコンテスト開催！

あなたのおすすめ本は何ですか？POPを描いて、みんなに読んでもらおう！

募集期間：9月23日(木・祝)～10月24日(日)
投票期間：10月28日(木)～11月23日(火・祝)
投票結果：11月27日(土)～12月21日(火)

カレードPOPコンテストとは...

- ①カレードの本の中から、好きな本を選んでPOPを作成！
- ②POPができたら、カレードのカウンターまで提出ください。参加賞をお渡しします。
- ③集まったPOPは投票期間にカレードで掲示し、みんなに投票してもらいます！
- ④投票が集まったらカレードで結果発表！上位入賞者には豪華景品あり！



参加者募集中！

応募用紙はカレード館内に設置しています。ぜひご参加ください！

今月のおすすめ本

『ヘンな科学 “イグノーベル賞” 研究40講』

著者：五十嵐 杏南 出版社：綜合法令出版 分類ラベル：404/1

みなさんは「イグノーベル賞」を知っていますか？今年9月9日に授賞式が行われ、「歩きスマホ」の研究で、京都工芸繊維大学の村上久助教授らの日本の研究チームが「動力学賞」を受賞した、というニュースを覚えているという方も多いのではないのでしょうか。「イグノーベル賞」とは、人々を笑わせ、そして考えさせた研究に与えられる賞のことで、1991年に設立されて、以来30年にわたって世界に笑いを提供しています。毎年1万点近くの世界中の研究の中から、選りすぐりのキテレツ研究が各分野から10点選ばれ、受賞するのですが、なぜか日本人は今年で15年連続受賞の常連なのです。

この本では最近イグノーベル賞を受賞した40講について書かれており、日本人受賞者の研究も載っています。色んな研究を思いつくものだと感心すると同時に、研究者の好奇心や探求心、熱意や努力を感じ、読みながら「へえ〜」と言ってしまふ内容が盛りだくさんで、科学の知識や専門知識がなくても楽しめます。個人的なおススメは「バッタはスターウォーズを見ると興奮する」です。人間に関する研究だけでなく、虫や動物に関する研究、賞に関する豆知識も載っています。この本に載っている研究以外にも、受賞された研究はたくさんあります。ぜひこの機会に調べてみてはいかがでしょうか。
クスッと笑えて誰かに話したくなる「イグノーベル賞」の世界をぜひお楽しみください。

こちらの本は、カレードと野々市中央公民館に1冊ずつ所蔵しています。